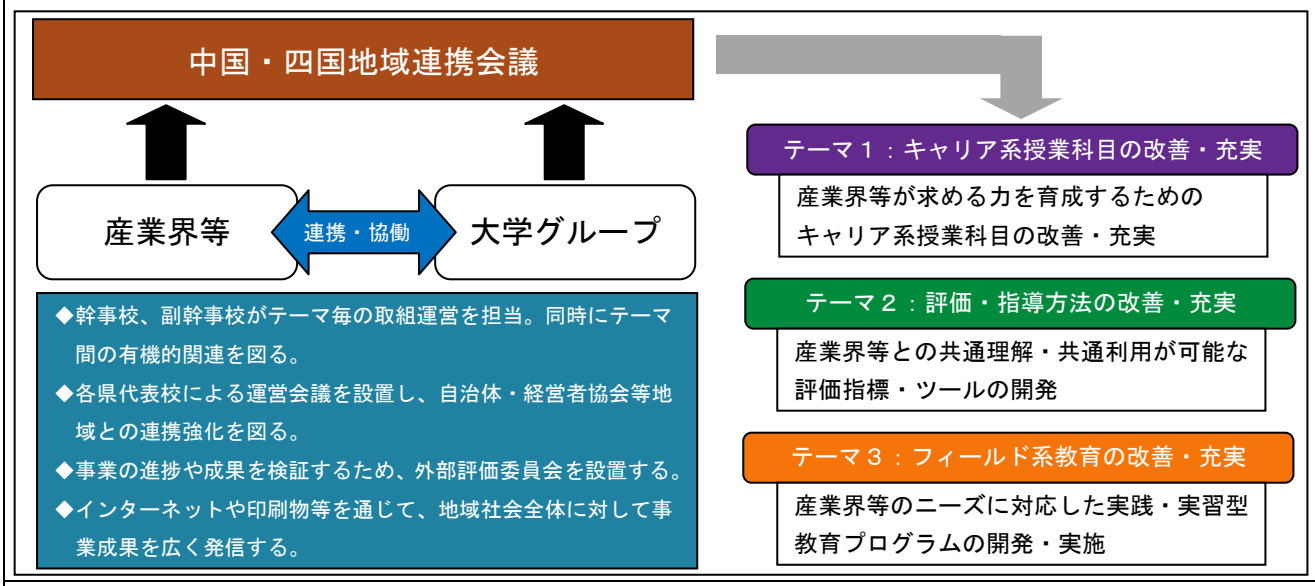
産業界のニーズに対応した教育改善･充実体制整備事業
【テーマA】教育改善･充実体制整備　最終評価結果

大学グループ名	島根大学グループ
取組名称	産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業
取組テーマ	1. キャリア系授業科目の改善・充実 2. 評価・指導方法の改善・充実 3. フィールド系教育の改善・充実 ①サブテーマ１　地域産業界等との連携を重視した実践的教育プログラムの開発 ②サブテーマ２　産業界のニーズに沿ったインターンシップの強化 ③サブテーマ３　産業界のニーズに対応した自律的な技術者養成プログラムの実施
取組担当者	島根大学　理事（教育・学生担当副学長）肥後　功一
連携校名 （★幹事校）	★島根大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、島根県立大学、岡山県立大学、尾道市立大学、県立広島大学、岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、くらしき作陽大学、ノートルダム清心女子大学、広島修道大学、福山大学、安田女子大学、山口東京理科大学、四国大学、鈴峯女子短期大学、（計１８校）

事業概要

本事業は、中山間地域の過疎・高齢化、中心市街地の空洞化、地域産業の不振、グローバル化への対応などの課題を抱える中国・四国地域産業界・自治体等の人材育成ニーズを受け、当該地域の国公私立 18 大学・短大が独自に積み上げてきたキャリア教育のノウハウを活かしながら大学グループとして連携・協働し、経済団体及び自治体と大学グループで構成する「中国・四国地域連携会議」を通じて 3 つのテーマを追求することにより中国・四国地域の振興・活性化に資する大学教育の改善・充実を達成するものである。

※詳細については、中国･四国地域人材育成事業ポータル（http://shiengp2.jn.shimane-u.ac.jp/Portal/a.html）を参照



最終評価結果＜総合評価＞　A

≪コメント≫

3 年間の取組を経て、当初の計画より現実的な取組が実践できている大学が増え、アンケート調査の実施、データ分析等を踏まえて、共通教材の開発や合宿授業など取組テーマに沿った具体的な施策を実施している点が評価できる。また、ホームページで積極的に情報を発信している点も優れている。目標達成のための参加大学の役割分担が明確であり、かつ産業界との協同体制が出来ており、産学連携組織の継続と成果の実践という両面で、補助期間終了後の取組への検討も適切になされている。

一方で、事業全体として見ると、産学間連携活動によって創出した新たな改善・充実点が明らかでないため、その状況や事業開発プロセスが見えにくい。今までの取組を産業界との連携に焦点を当てて分析し直し、今後、産業界と大学間で事業の全体と取組テーマに関する評価基準を具体的に設定し、可視化できる成果を生み出しながら、共通理解と連携を深める努力が望まれる。補助期間中は実質的には準備段階で連携の土台が形成されたところまでであり、真価が問われるのはまさにこれからという取組である。今後も、事業を継続し、活動プロセスや検証を踏まえた課題も含め、成果を公表していくことを望みたい。